

令和4年2月5日掲載

熊本日日新聞 読者の広場「若者コーナー」

2年 坂口 幹汰（さかぐち かんた）さん

## タイトル：「実りの大きい県内修学旅行」

私たちの稜南中学校では、例年関西方面へ修学旅行に行っていましたが、今年は新型コロナの影響で熊本県内での旅行になりました。

この修学旅行で感じたことが二つあります。一つ目は、地震は恐ろしいということです。

私たちは、熊本城と旧東海大学阿蘇キャンパスに行って、地震について学びました。

熊本城では石垣が崩落していました。阿蘇キャンパスでは、地面に大きな亀裂が入ったり、地震当時の壊れた建物がそのまま保存されているのを見ました。この地震で亡くなった方も出るなど、大きな被害があったことを知り、心が痛くなりました。

今まで地震による被害をテレビで見ても、どこか人ごとのように思っている自分がいました。しかしこれからは、「自分にも、いつ、このようなことが起きるか分からない」ということを頭に入れながら生活をしたいです。

二つ目は、自然は美しいということです。阿蘇の大観峰や火山博物館からの景色を見て、とてもきれいだと思いました。実際に自分の目で見ることで、より美しく見えました。天草の海の美しさとは、また別の美しさがありました。

修学旅行が例年通り関西方面だったら、日本の歴史について深く学ぶことができたでしょう。しかし熊本県内だったからこそ、今まで気付かなかったふるさと熊本について、たくさん学ぶことができたと思います。僕にとっては実りの大きい修学旅行でした。